



皆様にはますますご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は私の活動に対しまして格別のご支援、ご協力をいただき心より御礼申し上げます。日々皆様からいただく声にしっかりと行動でお応えし、しっかりと結果を出して参ります。どんな小さな声でも結構です、遠慮なくお申し付け下さい。

身近な市政情報

1 高齢者等地域のごみ出しの支援活動に奨励金が交付されます

- 平成30年10月からごみ出しが困難な一定の要件を満たす高齢者や障害者の方へ、ごみ出し支援活動を行う団体へ奨励金を交付します。
- 申請できる団体は町内会や老人クラブ、ボランティア団体等の非営利活動団体です。
- ごみ出し支援活動1回当たり140円/世帯となり、一団体あたり交付の限度金額は48000円(H30年度)となります。
- 交付の対象者は一人暮らしの方、又は以下の要件を満たす方です。

- ・要介護1～5の認定を受けている方
- ・身体障害者手帳の交付を受けている方
- ・療育手帳の交付を受けている方
- ・精神障害者保険福祉手帳の交付を受けている方

※お問い合わせ

仙台市環境局家庭ごみ減量課まで

電話 (022) 214-8226

私が議会において提案させていただきました。

2 コミュニティサイクル事業「ダテバイク」の利用料金の改定のお知らせ

平成25年3月から開始している本事業は多くの市民の皆様にご利用いただいております。

この度、一層の利用拡大に向けたサービス拡充と充実した事業運営を図る為、以下の通り利用料金の改定を行うこととなりました。

1. サービスの拡充

- ・長町エリアに新サイクルポート(約10ヶ所)を設置します。
- ・電動アシスト自転車を150台増車します。

2. 利用料金の改定

料金プラン	現在の料金	改定後の料金
1回利用 (延長料金)	96円/回(60分) (96円(30分毎))	150円/回(60分) (100円(30分毎))
月額会員 (延長料金)	1429円/月 (96円(30分毎))	2000円/月 (100円(30分毎))

3. 実施時期

H30年8月から 増車150台

9月から 長町エリア拡大

10月から 利用料金の改定

3 特別養護老人ホームの入居申込状況調査

県内の特別養護老人ホーム(市内61施設を含む162施設)への調査を行い調査結果は以下の通りとなりました。(平成30年4月1日現在)

1. 入居申込者数 2161人(前年比158人減)

2. 要介護度別内訳

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
160人	257人	587人	681人	476人	2161人
7.4%	11.9%	27.2%	31.5%	22.0%	—

3. 現在の生活場所別内訳

自宅	病院	老健施設	養護老人ホーム	その他	合計
793人	321人	607人	17人	423人	2161人
36.7%	14.8%	28.1%	0.8%	19.6%	—

仙台市では「高齢者保健福祉計画」(平成30年度～平成32年度)における「介護サービス基盤の整備方針」に基づいて、整備数を定め計画的に整備を進めております。今後更に拡充を図って参ります。

橋本けいいちプロフィール

- 経済環境常任委員会委員
- 新たな本庁舎・議会棟の整備調査特別委員会副委員長
- 仙台市農業委員
- 仙台市廃棄物対策審議会委員
- 仙台市介護保険審議会委員
- 仙台市景観審議会委員
- 仙台市スポーツ市議の会会長
- 仙台ウォーキング協会理事
- 仙台・東北フィジー共和国経済文化交流協会会長
- 昭和41年仙台市泉区生まれ
- 宮城県仙台第三高等学校卒
- 東北学院大学法学部卒

4 (仮称) 仙台市客引き行為等の規制に関する条例(中間案)の概要

1. 客引き行為等について必要な規制を行い、安全安心で快適な街づくりを目的とする

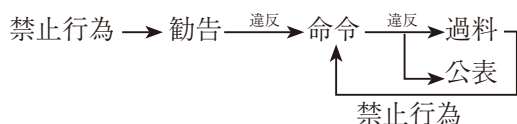
2. 客引き行為とは

- ・客引き行為 ・客待ち行為
- ・勧誘行為 ・勧誘待ち行為

3. 規制区域の指定

- ・地域団体と協働して必要と認定する区域
- ・仙台市安全安心街づくり推進会議の意見を聴いて指定する

4. 勧告と罰則



5. 運用

巡回、啓発及び勧告等の実施方法について地域団体及び警察その他の関係機関に協議するものとする。

※お問い合わせ先

仙台市市民局市民生活課
電話(022)214-6146 まで

5 スポパーク松森の次期事業について

スポパーク松森に松森工場から発生する余熱を活用し市民への健康増進や交流を図ることを目的に、PFI方式により事業が開始されましたが、現事業の契約が満了となる平成32年4月末以降については民間活力活用により引き続き事業を実施することになります。

○次期事業として

- (1) 事業期間 平成32年5月から概ね10年間
- (2) 事業方式 公募提案型賃貸借方式
- (3) 事業者の選定 選定委員会において提供するサービス等の事業内容や貸付料の提案について選定されます。
- (4) 今後の予定
平成31年4月～8月下旬 公募期間
9月下旬 事業者決定
平成32年5月 次期事業開始



6 泉区内の交通事故発生状況と交通安全対策の取り組みについて

1. 泉区内における交通事故発生状況

	H28年	H29年	
交通事故全体	683件	639件	減少が続く
高齢者の事故	82件	82件	横ばい
子供の事故	46件	40件	減少している
高齢ドライバー	128件	109件	減少している
自転車事故	95件	109件	減少している

平成30年7月末現在の泉区内の交通事故全体の件数は307件(前年比△56件)と報告されていますが、残念ながら死亡事故が発生しています。

2. 今年度の主な取り組み

(1) 通学路の交通安全確保対策

- ・学校等と連携をしながら、泉地区内の交通指導隊による通学路における定期的な立哨を行い、児童生徒の安全確保に取り組んでいます。

(2) 高齢運転者講習対策(シルバードライバー)

- ・春と秋の年2回、泉区内の自動車学校にて開催しています(参加人数40名予定)。

(3) 自転車の安全利用対策

- ・各区でモデル地区指定を行っており、泉区は泉中央地区において、警察、学校、関係団体が一緒になって街頭啓発に取り組んでいます。
- ・泉区内の中高等学校において、スタントマンが自転車事故を再現する「スケアードストレイト方式」の交通安全対策を開催しています。
- ・自転車の道路整備として、泉区内の各エリア(特に通学路)の道路面において、自転車の車道通行を促す「ピクトグラム(矢羽表示)」の整備を進めています。
- ・仙台市では、「仙台市自転車の安全利用に関する条例」が提案され、平成31年1月の施行を目指しており、「保険の加入義務化」等が内容に盛り込まれております。

※お問い合わせ先/仙台市市民局生活安全安心部自転車交通安全課まで

TEL214-1074・214-1075

7 仙台港周辺における環境モニタリングの強化について

仙台港周辺に立地が予定されている火力発電所を念頭に、蒲生干潟近辺にPM2.5の測定機を新たに設置し、常時監視を開始するとともに、引き続き大気・水質の環境調査を行います。

1. 蒲生PM2.5測定局の開設

これまでの市内14ヶ所に加えて、蒲生干潟近辺にPM2.5測定局を設置します。

- (1) 場所/蒲生雨水ポンプ場敷地内
- (2) 測定値の公表/24時間連続測定した結果をリアルタイムに仙台市ホームページにおいて提供されます。又、区役所、総合支所に設置している「大気環境ディスプレイ」でも提供します。
- (3) 開設予定日/平成30年7月1日

8 榴岡公園におけるPark-PFI(パーク・ピーエフアイ)事業が実施されます

仙台市公園マネジメント方針に基づいて、民間活力(民間事業者の持つ財産やアイデア、智恵等)によって公園の魅力をより一層向上させる目的で、広場等の公園整備を併せて行う施設の管理者をPark-PFI制度を活用して公募し、新しい公園サービスを提供することをを行います。

1. 公募対象について

- ・区域として、榴岡公園内の旧レストハウスエリア(面積約2300㎡)です。

・施設としては、飲食施設(必須)と飲食以外のサービス(任意)となります。

2. 事業者の選定について

公募による公園施設の設置管理を行う事業者の選定を混平・適正に行う為、外部の専門家を委員とした事業者選定委員会を設置します。

3. スケジュール

H30年 7月	公募説明会
10月	提案内容の審査
12月	協定締結 施設整備開始

仙台市議会 経済環境委員会協議会質疑・答弁(要約)②

整備予定の音楽ホールについて

橋本の質問 整備検討されている音楽ホールですが、大ホール、小ホールそれぞれの特性や位置づけ、又その機能のあり方を明確にして、本市が目指す「楽都」や「劇都」にふさわしい、特色ある施設を整備する必要があります。音楽ホール整備の検討状況と今後の進め方が示された今、施設の概況だけでなく配置のあり方も考えなければなりません。

そういったことから、宮城県が進める県民会館の建て替えを念頭に置くとともに、県との情報交換や調整、共有を図る必要があります。こういった回数が決して多くはなかったように思われます。これまでどのように進めてこられたのか。今後の進め方についても確認します。

答弁 これまで音楽ホールの状況について、平成27年度と28年度の基礎調査において各種ホールの状況や耐用年数を調査致しました。その結果、2,000席のホールをはじめ、小ホールも必要としたところです。しかし、音楽ホールについては、宮城県も更新を行うことが予想されています。宮城県とは、年4回定期的に議論する場を設けており、本市の懇話会に県にもオブザーバーとして出席いただいております。

現在、県の検討よりも本市が先行しており、本市の音楽ホールを軸に県のホールのあり方について、今後検討していくことになっています。そういう意味でお互いの情報交換を密に二重投資にならないよう連携して参ります。

仙台市のごみ減量・リサイクル推進に向けた新たなごみ分別モデルについて

橋本の質問 ごみ分別モデル事業については家庭ごみの量の削減、減量、リサイクルの向上という目的で進められ

るものです。その中の剪定枝やコーティング加工内容は、これまで家庭ごみの中に含まれておりました。これらの混入の割合をどう把握していますか。

答弁 家庭ごみの中に含まれる剪定枝の量は平成26年度では3ヶ月間でおよそ900トン程度と想定しており、紙製容器包装については何トンも出るとは考えておりません。現在、紙マークで集めているものと集めていないものがありますが、今回の事業では全て集めることでわかりやすくなり、紙の分別が進むことが期待するところです。

橋本の質問 これら2つの資源化に係る費用ですが、どの程度軽減されると見込んでいるのでしょうか。

答弁 剪定枝の事業については、リサイクルや収集運搬等の委託料合わせて2,669万円、紙製容器包装については委託料として167万円としています。焼却処理と比較して、ごみ全体で1トンあたり約2万3,000円ですが、今回の事業については1トンあたり約3万円の費用がかかることになるものと考えます。

橋本の質問 剪定枝の場合、連絡後に自宅前に排出、コーティング紙製容器は指定の場所に持って行くこととなります。手間がかかるわけですが、収集方法の検証も必要ではないでしょうか。今回の回収は、どの程度の効果を見込んでおられますか。

答弁 どれくらいのごみ回収があるかを把握した上で収集量を踏まえた収集の手法や資源化の方法、それらに要する費用を勘案して、翌年度以降の事業実施を検討して参りたいと思います。なお、剪定枝については900トン程度が排出してもらえばと考えております。

橋本の質問 「高齢者等で地域ごみ出し支援活動促進事業」ですが、何度も申し上げているのは協力してくれる団体がなければこの事業は進みません。町内会のみならず、社会福祉協議会、NPO、ボランティア団体等に、しっ

かりと説明し協力依頼が必要です。町内会等への説明では具体的にどういう声があったのか。対象となる団体の反応を伺います。

【答弁】市連合町内会や区連合町内会協議会、民生委員の理事会、老人クラブでの説明を行いました。多くから肯定的な意見をいただいたところです。寄せられた声の中で一番多かったものは、「市からお金をいただくような事業であると非常に手続きが煩雑になったり、何度も報告を求められたりということを依頼されることが予想されるので、なるべく手続きを簡素化するなど負担の軽減を図っていただきたい」とか「高齢者や障害者の方々を対象とする事業なので、個人情報の取り扱いなど十分に配慮するべきだ」といったご意見を伺いました。

【橋本の質問】ごみ出し支援対象となる世帯については4つの要件がありますが、協力いただく団体の方々には一

定の情報は提供せざるをえないものであり、一方で十分配慮がなされなくてはならないものであります。これらの対応について確認いたします。

【答弁】障害の内容や介護の判定の度合い等の個人情報は、非常に重要な情報であります。支援に該当するかどうか、奨励金の交付対象者になるかどうか、といったことに関する情報について個人情報の適切な利用等、十分配慮して対応して参ります。

【橋本の質問】既に何年も取り組んでいる市町村については、多くのノウハウを蓄積していることから、十分に参考にするよう調査を行い、効果ある取り組みとなることを期待いたします。

質問内容と答弁の詳細については、[仙台市議会のホームページ](#)からご覧いただけます。

仙台市議会ホームページアドレス
<http://www.gikai.city.sendai.jp>

活動レポート



2018年6月
地域の方々を議会にお招きして仙台市が取り組む「地域包括ケアシステム」の勉強会を開催致しました。高齢者が住み慣れた地域で暮らしながら健康で生きがいを感じ生活をしていく為に介護サービス基盤の充実と人材の確保が求められます。活発な議論が行われました。



2018年6月
学識経験者で構成される「仙台市役所本庁舎建て替え基本構想検討委員会」の委員の皆様と私ども「仙台市議会新たな本庁舎・議会棟の整備調査特別委員会」との意見交換会を行いました。様々な視点から将来の市役所・議会棟のあり方、進め方についてお話を伺うことができました。未来に誇れる建物をつくる責任を改めて実感しました。



2018年6月
地域の防災において日頃から大きな役割を担っていただいている「泉区婦人防災クラブ」の発足50年を迎える記念大会に参加致しました。50年における活動の記録が紹介され、又東日本大震災時における取り組みが発表されました。今後更にその役割が期待される所ですが議会としても、その活動をしっかりと支えていく必要を感じました。



2018年7月
仙台市議会議員で構成する「仙台市議会空港・港湾活性化議員協議会」として、整備が進められる仙台塩釜港のコンテナターミナル等の視察調査を行いました。東北地方最大の海上物流拠点としての機能強化が今後更に求められます。コンテナ取扱貨物量の増加とコンテナ船入港隻数の増加による荷さばき地の狭小化とコンテナ船の滞船も発生する時早急な対応が求められております。



2018年7月
東日本大震災に伴う津波によって大きな被害を受けた本市の海岸公園ですが、昨年までパークゴルフ場・野球場・テニスコート・運動広場・センターハウス等が先行再開致しておりましたが、この度井上地区の冒険広場と馬術場が完成し、海岸公園における全ての施設が利用可能となりました。再生した海岸公園は以前と同様に、ご利用いただくことができるようになります。



2018年7月
仙台商工会議所と日本貿易振興機構(ジェトロ)共催による講演を聴講致しました。仙台市の中小企業のものづくりとこれからのEUとの関係のあり方など、仙台空港や仙台港を活用した物流の積極的な取り組みを進めることが重要と感じました。東北の物流の拠点として仙台市の関わり方を考えて参ります。



2018年8月
仙台市内の営農者の方々との意見交換会に参加致しました。耕作放棄地の解消に向けた取り組みを伺うと共に、後継者問題や鳥獣被害の予防策について意見を交わすことができました。農業委員の経験を活かし現地の状況を積極的に課題解消に取り組みます。



2018年9月
仙台市議会の「新たな本庁舎・議会棟の整備調査特別委員会」の副委員長として「神奈川県藤沢市」を視察調査を行いました。多くの市民の方々が憩える市役所庁舎の配置や取り組み等について意見を伺いました。特にサイン表示や休憩場所の設置、そして市民利用スペースのあり方について本市にも積極的に参考として参りたいと思います。

皆様のご意見ご要望等どしどしお聞かせ下さい。お待ちしております。
TEL(022)773-3083 FAX(022)376-5232 Eメール : hashihashi@nekketsu.net